

【防災メモ】 ～大津波警報・津波警報・津波注意報～

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置を速やかに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報又は津波注意報（以下「津波警報等」）を津波予報区単位（図1）で発表します。

津波警報等では、予想される津波の高さを通常5段階の数値で発表します（表1）。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震では、精度の良い地震の規模をすぐに求めることが出来ず、その海域



図1 北海道の津波予報区

における最大の津波想定等をもとに津波警報等を発表します。その場合、最初に発表する津波警報等では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表し、非常事態であることを伝えます。その後、地震の規模が精度良く求められた時点で津波警報等を更新し、予想される津波の高さを数値で発表します。

表1 津波警報等の種類ととるべき行動（気象庁リーフレット「津波防災」より）

	予想される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現	
大津波警報	10m 超 10m < 予想される津波の 最大波の高さ 10m 5m < 予想される津波の ≤ 10m 最大波の高さ 5m 3m < 予想される津波の ≤ 5m 最大波の高さ	巨大	<u>巨大な津波が襲い</u>、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、<u>ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難</u>してください。 
津波警報	3m 1m < 予想される ≤ 3m 津波の最大 波の高さ	高い	<u>標高の低いところでは津波が襲い</u>、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、<u>ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難</u>してください。
津波注意報	1m 20cm ≤ 予想される津波の ≤ 1m 最大波の高さ	(表記 しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。<u>海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れて</u>ください。 

○避難のポイント

- ・震源が陸地に近いと津波警報等が津波の襲来に間に合わないことがあります。沿岸で強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始してください。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしてください。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってくるうえに、一度来た津波より後から来る津波の方が高くなることもあります。津波警報等が解除されるまでは、避難を続けてください。